

兵庫保険医新聞

第1863号

2017年11月25日

発行所 兵庫県保険医協会
http://www.hhk.jp/

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5F ☎078-393-1801
(1部350円送料共・年間購読料12,000円)
振替01190-1-2133

(会員の購読料は会費に含まれています)

今号の記事

日常診療経験交流会 参加記 4～5面

主張 「トランプ米大統領の訪日」 2面

研究 保険診療のてびき 6面
日常臨床におけるCOPD診断と治療

兵庫保険医新聞 新年号

会員投稿募集!

テーマ ①オリンピックに思う ②自由題

来年2月には冬季平昌オリンピック、2020年には東京オリンピックを迎えます。オリンピックについての思い出やお考えを自由にお寄せください。

締切 12月4日(月) 協会必着

字数 600字以内

送り方 メール kuriyama-h@doc-net.or.jp

FAX 078-393-1820

お問い合わせは、☎078-393-1807まで

会員署名1400筆を提出



加藤厚労大臣(左端)に、診療報酬引き上げを求める武村副理事長(右端)、住江憲勇保団連会長(右2人目)。左2人目は仲介した高橋千鶴子衆院議員

11・16中央要請行動

診療報酬引き上げ必ず実現を

保団連・協会は11月16日、総選挙後初となる中央要請行動を実施。兵庫協会から、武村義人副理事長、白岩一心理事が参加し、厚労省・財務省・国会議員に「医師・歯科医師署名」1389筆を提出し、診療報酬・介護報酬の引き上げと患者・利用者負担軽減を求めた。

加藤厚労大臣に要請

同日の行動は、医師・歯科医師による医療再生をめざす「ドクターズ・デモン



盛山正仁(①中央)、桜井周(②右)両衆院議員・大門美紀史(③右)参院議員に、武村副理事長(①右)、白岩理事(①左)が「医師・歯科医師署名」を手渡した

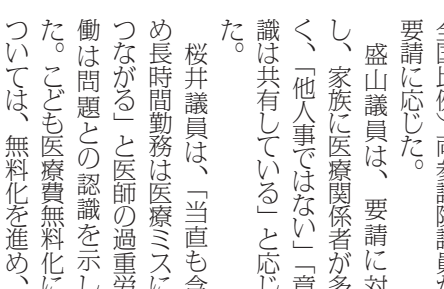
ストレーション(DD)実態を伝え、診療報酬の大幅引き上げ、医師・看護師・介護職員の大幅増員・処遇改善、患者・利用者負担増中止を求めた。



また、財務省・岡本眞明主計局長との懇談が、大門美紀史参院議員の取り次ぎで実現した。DD実行委員会の診療報酬引き上げ要請



国会議員との懇談では、盛山正仁(自民党)・桜井周(立憲民主党)両衆議院議員、大門美紀史(共産党)・石橋通宏(民進党)・全国比例)両参議院議員が要請に応じた。



若いうちに健康管理、早期治療を行うことが大切であるとした。また、「保険で良い歯科医療の実現を求め」署名の紹介議員を引き受けた。

国会議員4氏と面談

厚労委員である石橋議員には、白岩先生が書籍「口から見える貧困」について、口腔対策を学校とともに進める取り組みの重要性を指摘した。

盛山議員は、「要請に対し、家族に医療関係者が多く、他人事ではない」「意識は共有している」と応じた。桜井議員は、「当直も含め長時間勤務は医療ミスにつながる」と医師の過重労働は問題との認識を示した。これも医療費無料化については、無料化を進め、

「アピール」を採択し求める。老健局と懇談 介護報酬4月以降も紙媒体認めよ

介護報酬に関して、厚労省老健局との懇談も実施。武村副理事長が、①介護報酬オンライン請求義務化について、来年4月以降の新規事業所も介護報酬の書面請求を認めること、②介護報酬改定の告示・通知の発出を早めることを要請した。

武村副理事長は、「兵庫県下の医療機関では、医科で約半数、歯科で約75%が紙媒体で請求している(17年10月請求分)」「医療機関の介護保険請求の多数を占めるのは居宅療養管理で、ほとんどが月数人分。設備投資などコストや手間をかけて電子媒体請求するのは不合理だ」と指摘した。

厚労省は「本来は月単位での改定内容の周知期間が必要と思う。できるだけ早く告示・通知できるようにしたい」と述べた。

トランプ大統領の訪日。象徴的だったのが羽田空港でなく横田基地に到着したこと。戦後72年も経つのに、いまだに日本は米国の属国であることを見せつけられた▼安倍総理は北朝鮮の核・ミサイルや、少子化を国難と、国民に危機感を煽っておきながら、トランプ氏とゴルフをのんびり楽しんだ▼かつて、池田勇人元首相がフランスを訪問した際、誉れ高いドゴール大統領から「トランプジスター商人」と揶揄された。トランプ氏は、北朝鮮の金正恩国家主席を「rocket man」と虚仮にした▼北朝鮮の核やミサイルが危険視されるのは、米国の北朝鮮に対する敵視政策によるもので、本来、日本と関係ないはずだ▼北朝鮮はイラクのフセインのようになりたくない、自衛のため核開発している。米国はこれを奇貨として、日本や韓国等に巨額の米国製の武器を売り付けた。そんな金があれば医療・福祉に回して貰いたい。トランプ氏は武器商人。Little rocket manに対してJumbo match pump manと呼ぼう▼昔の超大国なら同盟国に安全保障を引き換えに貿易赤字のことなど、とやかく注文しなかった。国力が相対的に低下している。しかも米国内ではロシア疑惑でmatch男の尻に火がついている▼日本は米国の走狗となり、日本海で米国の3隻の巨大空母と日本の小型ヘリ空母で軍事演習を行った。これぞ「虎の威を借る狐」である。狐は人間を騙す犬科の動物である。折しも来年は戌年、これからの日本は? (鼻)

従業員不足が深刻

会員署名に寄せられた声

協会が取り組む「診療報酬の引き上げと患者窓口負担の軽減を求める医師・歯科医師署名」への協力者が1400名を超えた。一言に寄せられた声の一部を紹介する。

・治療の質を上げるためには新しい器具や材料を使用しなければなりません。保険点数には反映されないようなことも患者さんにとってより良いものであれば自

ら身を切って行っているのが現状です。(尼崎市・歯科) 診療報酬の引き上げなくしては医療資源とする原資が得られず良質な医療を提供する上で齟齬を生じる。(西宮市)

・私たちが多くの個人開業医師は、1年365日24時間、患者さんの要望があれば応じています。医療費は1度も上がったことなく、患者さんの自己負担も増すばかりです。どこか、まちがっていませんか。(三木市)

・政府は常に日本の経済成長をかせぎ、賃金、給与の増加を促し、訴えていまます。しかし、医療機関は、診療報酬が上がりなければ職員給与を増やすことは

できません。…そのような状態でどうして職員の給与を上げていくことができるでしょうか。日本政府は医療従事者の給与だけは例外で、どんどん下がっていきつつあります。医療費は1度も上がったことなく、患者さんの自己負担も増すばかりです。どこか、まちがっていませんか。(三木市)

・診療報酬が引き下げられた場合、治療の質を下げた患者さんがいます。患者・医療者の双方にとって不利になる診療報酬の引き下げは止めていただきたい。(赤穂市・歯科)

主張

トランプ大統領が訪日し、首脳会談を行った。安倍首相はトランプ大統領とゴルフをし、よりよい日米同盟へと刺繍された帽子のプレゼントと豪華な会食を行い、蜜月ぶりをアピールした。

マスコミは、ゴルフや会食の内容ばかりを報じるが、もっと会談内容に焦点をあてるべきである。

トランプ米大統領の訪日 圧力・威嚇より対話を 兵器より社会保障を

安倍首相は、「日米が主導し、あらゆる手段を通じて、北朝鮮に対する圧力を最大限まで高めていくことで完全一致した」と勇ましく宣言し、

そのうえで日米貿易不均衡の解消のためとして、オスプレイ、F35A戦闘機、イージスアショアの購入を、気前よく約束した。これには6000億円の費用が必要とされ

審議会に、診療報酬についてマイナス2割半ば以上の引き下げを提起している。社会保障費の伸び6300億円を5000億円にまで抑えるはずであったが、待機児童解消

マイナス改定により、すでに多くの場面で医療崩壊が起きている。産科や小児科、時間外医療、救急医療などでの、医師の過重労働、長時間勤務、過労死などが次々と報道されている。地域に安心・安全の医療体制が供給できなくなっている。診療報酬引き下げでこのような状態が加速するのは必至である。

国民向けの社会保障費を削り、米国言いなりに兵器を購入する。これが安倍政権の実態である。このような局面を打開するためには、われわれ医師・歯科医師が待合室から、地域から声を上げていくことが求められる。

政策研究会

今、日本に必要な

金融・経済・財政政策とは

政策部は11月11日、協会会議室で政策研究会「今、日本に必要な金融・経済・財政政策」を開催。京都大学レズリエンス実践ユニット特任教授の青木泰樹氏が講演し、20人が参加した。青木氏は、この20年間で欧米諸国では名目GDPが2倍以上になっているのに、日本経済はデフレの

長期化により横ばいのままである。日本が、プライマリー・バランス赤字の解消をめぐり、緊縮財政政策をとってきたことにより、景気が悪化し、日本経済は成長を妨げられてきたと分析。そして、経済成長を実現し

要不足を補う財政出動が必要であるとし、将来にわたる継続的な総需要の創出として、医療・社会保障への支出増や「国土強靱化投資」が求められるとした。政府の国債発行については、不況時に滞留した資金を实体经济に送り込み、総需要を増加させる役割があると評価。「国債発行は、将来世代に負担をかける」という財務省の説明は、個人と政府を同一視することから発する誤解であり、政府は永続する存在であるため、経済が変動するまでは、借り換えで対応し、経済が過熱すれば増税、デフレ不況期には日銀引き受けを行うべきであるとした。

また、デフレ解消のためとして、日銀が続けている量的緩和政策については、銀行の日銀当座預金を増やすだけで、实体经济に影響を与えていないと批判。デフレ脱却には、総需



総需要創出のための財政出動が必要と訴える青木氏

要不足を補う財政出動が必要であるとし、将来にわたる継続的な総需要の創出として、医療・社会保障への支出増や「国土強靱化投資」が求められるとした。政府の国債発行については、不況時に滞留した資金を实体经济に送り込み、総需要を増加させる役割があると評価。「国債発行は、将来世代に負担をかける」という財務省の説明は、個人と政府を同一視することから発する誤解であり、政府は永続する存在であるため、経済が変動するまでは、借り換えで対応し、経済が過熱すれば増税、デフレ不況期には日銀引き受けを行うべきであるとした。

また、デフレ解消のためとして、日銀が続けている量的緩和政策については、銀行の日銀当座預金を増やすだけで、实体经济に影響を与えていないと批判。デフレ脱却には、総需

姫路・西播支部 淡路島バスツアー

風雨に負けぬ 体験いっぱいのツアー

感想文

姫路・西播支部は10月22日、バスツアー「淡路島牧場での乳搾り体験&ウエスティンホテルでバイキング」を開催し、21人が参加した。入江善一先生の感想を紹介する。

台風21号接近に加え、秋雨前線が列島南部に停滞しており、明石海峡大橋を渡るには、驚くこと共に、



「パルシェ香りの館」でオリジナルのお香づくり

「パルシェ香りの館」でオリジナルのお香づくり

まず、募金を集め私を派遣していただいたみなさん

関係各位のご判断と決断力に敬意を抱いた。

姫路駅南を出発、途中一度の休憩で、淡路島は「宮の「パルシェ香りの館」へ直行。ここでは線香の生産、全国1位のシェアを誇っていると言います。バスから館まで土砂降りの雨に濡れた

が、いざお香作りが始まると、そんなことはどこへやら、粘土に香料を入れて、捏ねて捏ねて完全に混ざったら、これを圧延し、それを花や動物の型で打ち抜いて段ボールの板に並べ、乾燥する。これが結構重労働であるにもかかわらず、皆さん、我を忘れて楽しんでおられた。

お香は持ち帰って部屋に置いた。ほんわりとした匂いに包まれて、かつて旅したヒマラヤやインドの白檀が幻のように思い出され、感無量であった。

次は南あわじの牧場。まず乳しぼりである。生まれてこの方、初めての体験。おっかなびっくりでやってみたが、思ったより激しく噴き出すのと、乳首や乳房がとても温かかったのに感動した。バケツ一杯でも搾り出すのは並大抵の労働ではないな、と痛感したのであった。日頃飲むコップ一杯の牛乳にも感謝の気持ち

次いで、バター作りである。牛乳と生クリームを1:2に混ぜた容器を何百回も振っていると、バターと低脂肪乳に分離する。低脂肪乳は飲み、バターはクッキーに付けて食う。何の味も付いていないが自分

「禁止から廃絶まで」戦

IPPNW世界大会 報告

核兵器禁止条約の参加国を増やそう



IPPNW共同代表のティルマン・ラフ氏(中央)と記念撮影。右端が坂口評議員

9月4日から6日にイギリスのヨークで行われたIPPNW(核戦争防止国際医師会議)世界大会。兵庫協会は代表して、坂口智計評議員が参加し、10月28日の理事会で大会の模様を報告した。報告の要旨を掲載する。

9月4日から6日にイギリスのヨークで行われたIPPNW(核戦争防止国際医師会議)世界大会。兵庫協会は代表して、坂口智計評議員が参加し、10月28日の理事会で大会の模様を報告した。報告の要旨を掲載する。

他にも、ICANN事務局長のマイアトリクス・フリン、軍縮研究者でありイギリス・エイクロニム研究所長のドレベッカ・ジョンソン、地元ヨーク大学のドミニク・リッチーなど、そうそうたるメンバーが現在の核兵器を取り巻く情勢について語った。

「禁止から廃絶まで」戦

「社会的責任のための医師会会長」は「アメリカ、ロシア、NATOで核戦争が起きれば、30分で2000万人が死亡し、気温が14度下がりすべての食料生産が破壊され人類が滅亡する」などと、医師としてエビデンスに基づいて核兵器の危険性を訴えるべきだと説いた。

景品付きクイズチラシ大好評実施中!

「診療報酬ってなに？」



ご注文・お問い合わせは、☎078-393-1807まで

会員計報

池内 春樹先生
姫路市 小児科
11月7日 享年70歳

ご冥福をお祈り
申し上げます

医科保険請求 Q and A

〈他医療機関で入院中の患者の外来受診〉

Q1 他医療機関で入院中の患者が外来で受診してきたが、保険診療を行うことはできるか。

A1 入院中の患者については、入院医療機関で診療できない専門的な診療が必要になった場合などのやむを得ない場合に限り、外来側の医療機関において保険請求できます。

Q2 具体的には、どの点数を保険請求することができるのか。

A2 出来高病棟（一般病棟入院基本料など）や包括病棟（特定入院料など）に入院している場合、算定できる点数と算定できない点数があります（下表）。

またDPC算定病棟に入院している場合に

は、外来受診側では保険請求ができません。診療に係る費用は、入院医療機関と合議により精算します。

入院先の医療機関は、予め外来受診側の医療機関に対して、診療情報を文書で提供する必要があります。外来受診側ではまず診療情報提供書（紹介状）を確認し、入院先で算定している病棟の種類や、請求方法について確認してください。

Q3 保険請求を行う場合、外来側のレセプトの摘要欄への記載は何か必要か。

A3 摘要欄に「入院医療機関名」「当該患者の算定する入院料」「受診した理由」「入院している診療科」および「(受診日数：〇日)」を記載します。

表 外来受診側の算定

	出来高病棟の患者	包括病棟の患者
初・再診料	○	○
医学管理料	B009診療情報提供料のみ算定可	
在宅医療	×	×
検査・画像診断	○	○
投薬・注射	専門的な診療に特有な薬剤を用いた投薬と注射（外来化学療法加算除く）の費用のみ算定可	専門的な診療に特有な薬剤を用いた受診日の投薬（処方料・処方せん料を除く）と注射（外来化学療法加算除く）の費用のみ算定可
リハビリテーション	言語聴覚療法に係る疾患別リハビリテーションの費用のみ算定可	
精神科専門療法	○	○
処置・手術・麻酔	○	○
放射線治療	○	○
病理診断	○	○
入院料等	短期滞在手術等基本料1のみ算定可	

審査・指導相談日

●12月14日(木) 15時～
●協会5階会議室

※医科は事前予約制 ☎078-393-1840まで、歯科は随時 ☎078-393-1809まで
※「指導通知」が届いたら、まず保険医協会にご連絡ください。
※『月刊保団連』同封の「保険審査相談用紙」をご利用ください。

在宅医療点数研究会 (医科対象：初・中級編)

日時 12月9日(土) 16時～18時
会場 県農業会館10階101・102号
※会場変更しています
講師 協会理事、中央区・東雲診療所所長 小西達也先生
参加費 1人1000円

「これから在宅医療に取り組もうと考えている」「特養から訪問診療を頼まれたが点数算定はどうすればいいのか」というような医療機関のために、保団連発行『在宅医療点数の手引2016年改定版』をもとにした、研究会を開催します。

お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1840まで

「これからの在宅医療に取り組もうと考えている」「特養から訪問診療を頼まれたが点数算定はどうすればいいのか」というような医療機関のために、保団連発行『在宅医療点数の手引2016年改定版』をもとにした、研究会を開催します。

融資部より 京都銀行提携融資制度 2018年3月末まで！ 特別金利キャンペーン好評実施中！

協会と京都銀行の提携融資制度は、期間限定の特別金利キャンペーンを実施しています。2018年3月末までの申込受付分について、通常より年0.4%優遇金利となります。借り換えも可能、手数料も通常より優遇していますので、ぜひご利用ください。

資金種類	利率	限度額
運転資金	1.075% → 0.675%	1000万円
設備資金	1.075% → 0.675%	1億3000万円
新規開業資金	1.275% → 0.875%	6000万円
子弟教育資金	1.275% → 0.875%	3000万円

※1000万円までは原則、担保不要
※歯科は+0.2%、新長期プライムレート連動
※診療報酬振込口座の社保・国保いづれか片方指定

まずはお気軽にお問い合わせください。☎078-393-1805 融資部・有本まで

第31回「神戸ひまわり号」in倉敷

趣ある美観地区を のんびり散策

協会も実行委員会に参加する障害者フレンドシップトレイン「ひまわり号」が11月12日、岡山県倉敷市に向けて運行された。「ひまわり号」は、障害者に外出する楽しさを知り、自信をもってもらおう



倉敷川の柳並木をバックに班員そろって記念撮影

「ひまわり号」は、障害者自身が日常的にまちへ出て地域の人たちとふれあうことにより、社会の障害者への関心を高めることが、だれもが住みよいまちづくりの原点と考え、1984年から協会や障害者団体などを中心に行っている。協会が呼びかけた募金に31医療機関から22万5000円が寄せられた。

と、障害者とその家族、ボランティアが参加する貸切列車での日帰り旅行。今年現地ボランティアも含め約200人が参加し、協会からは大西和雄先生（実行委員長・東灘区）、水谷尚雄先生（姫路市）とご家族が参加した。早朝に神戸駅・明石駅を出発し、倉敷市では、班ごとに分かれ、現地ボランティアの案内も受けながら、大原美術館を鑑賞したほか、趣ある美観地区を散策した。一日を通して天候にも恵まれ、参加者は美観地区の街並みを眺め、お土産を購入し、車内でも交流するなど、思い思いに楽しんだ。

「ボランティアに慣れていないスタッフが多く、障害者を持っているのも安心して旅行ができるのは本当にありがたい」「水谷先生ご家族には、道中はもちろん、明石駅から最寄りの駅までの帰りの切符購入まで手伝っていただき、本当に助かりました」など、非常に好評だった。

保団連公害視察会

参加記② 原発事故の反省 感じられない東京電力

理事 白岩 一心

保団連が10月21日～22日に実施した、新潟県の東京電力柏崎刈羽原発への公害視察会。前号につき、参加記を掲載する。

東京電力社員は約1100名、関連企業（事実上下請け事業）職員が3300名、合わせて5000名近くの人たちが勤務をしている。雇用安定は必要だが、そのために安全が脅かされていいのだろうか。

再稼働申請した原子力発電所である。視察では、再稼働ありきだけの改修を目にした。柏崎刈羽原発は、柏崎市と刈羽郡刈羽村に行政区がまたがる。6・7号機が刈羽村に立地しており、再稼働申請を出しているのは、この6・7号機である。何か意図的と、疑われても仕方ないのではないのか？ 新潟県中越沖地震以降、10年間で6800億円をつぎ込んで、現在に至るといふ。福島第一原発事故を受け、廃炉の選択を議論した様子は伺えない。連池薫さんが拉致されたという海辺も見学した。再稼働した原子力発電所として、本当に北朝鮮の軍事的脅威があるならば、原発は真っ先に攻撃対象になり得るのではないのか？ テロ対策は万全なのであるのか？

使用済み核燃料は、青森県むつ市に運ばれる予定で、核のゴミをこれ以上、東北地方に押しつけていいのであろうか？ 人命よりも、科学技術研究に費やそうとする東京電力や日本政府の考え方に大きな疑問を感じた。ただ、ウラン自体も資源として有限であり、原子力の非軍事的な学術研究の必要性も訴えておられ、東京電力の社員として大きな悩みを抱えて、ご説明をいただいたことは、意義深い。

人事法務コンサル

社会保険労務士

ISR 梨本事務所

労働条件・就業規則

(労働保険事務組合)

経営者会議

労務監査・給与計算

職能人材メンター

合同会社(LLC法人)

ISR パーソネル

医療・福祉人材紹介

(土業プロジェクト)

インテリジェントソーシャル協会

職業能力認定研修

ISR

アウトソーシング サポート

信頼・向上・そして社会貢献

〒650-0026 神戸市中央区古湊通1-2 (ISRビル)

ホームページ www.isr-group.co.jp

グループ代表 (CEO) 梨本 剛久

☎ 078-360-6611

大代表

5階 研修室

4階 企画室

3階 情報処理室

2階 統括本部

1階 駐車場

ISRビル

第26回 日常診療経験交流会 参加記

チーム医療の経験 多職種で交流

「医療連携のこれから、淡い光と深い闇」をメインテーマとして10月29日、神戸市内で開催された第26回日常診療経験交流会とブレ企画の参加記を掲載する(4〜5面)。

A1分科会

熱い仕事ぶり 伝わってくる発表

金光伴訓薬剤師は西宮市薬剤師会の在宅医療への取り組み(在宅塾)をかなり具体的に発表されました。オムツ体験や訪問時にはじめて気付く変化を共有します。そして患者さんのADL改善にフィードバックしていきます。多くの写真を示していただき印象に残りました。



分科会では活発に質疑がなされた

広川恵一先生は高血圧症通院患者100名の8年間の経過を丁寧に分析されていました。平均年齢も男75歳、女76歳と時代を反映されていました。当然がんによる中断が最も多かったです。平均降圧剤数が1.6剤というのには驚かされました。先生の日頃の熱意が感じ取れました。

医科・歯科・薬科交流企画

外来化学療法 多職種連携で副作用対策

明和病院の柳秀憲先生からは、延命治療から根治的や長期生存のための集学的治療に発展した現在の化学療法を分かりやすく紹介してください。



医・歯・薬それぞれの分野から報告

た。ただ、そのためにより機動力が必要となった。その中で効果確認や治療方針の変更を、専門性の高い主治医が担当することにより迅速にできる。外来化学療法の比重が大きくなった。同時に勤務者をはじめとする患者の利便性も向上しているとのことだ。神戸大学の古土井春吾先生からは、外来化学療法中の患者の口腔機能管理に、歯科が早期から介入することで患者のQOLを向上させ、栄養摂取を維持し、治療意欲を減退させないことで、治療成績を向上できることを紹介いただいた。

【伊丹市・歯科 川村 雅之】

A2分科会

地域医療に関わって 医療者も学び成長

この分科会は様々な在宅医療の取り組みについて発表があった。

宮武博明先生の地域包括支援センターとの連携、地域における困難事例に粘り強く取り組まれた経験。地域コミュニティが崩壊する中ますますこのような事例が増加すると考える。また、上田耕蔵先生からは在宅患者の時間外受診の報告、利用者が困っていることへのアンケートのまとめなどがあつた。実際の患者さんがどのような理由で...

外線星状神経節近傍照射療法です。眼圧下降療法単独では視力低下の進行を止められない方になり有望である旨を強調されました。

【垂水区 宮武 博明】

A3分科会

大気汚染や地震 専門領域外でも多彩な報告

森岡芳雄先生は、空気の汚れ調査と遠隔医療について報告された。

2017年の空気の汚れ調査では、回収率は67%に留まり過去最低となったとの情報があつた。汚染は排ガス規制や経済不況、産業の空洞化などもあり徐々に改善傾向が見られるが、神戸空港や明石大橋、高層住宅や歩道橋などホットスポットの存在が見つかつていた。高濃度汚染地域の測定値の低下の一方で、拡散により周辺地域の上昇や汚染の底辺拡大などが懸念さ...

【中央区 武村 義人】

A4分科会

貴重な 個別指導の体験

高田正先生は個別指導の経験を報告された。個別指導の体験談の公式発表は、兵庫県では初めてと思う。内容は「指導通知は丁寧だが敷居無礼と感じ、圧迫感があつた」との感想から始まった。実際の指導は「懇切丁寧で教育的」で、本人も納得しているようだった。個別指導になった理由の報告はなかったが、今回報告されたのは「①医師によって治療方針がバラバラ、②日本の指導は「晴天の霹靂」ではあるが、③かかりつけ医の困...

【尼崎市 八木 秀満】

情報ネットワーク企画

遠隔診療の議論 注視していきたい

情報ネットワーク部では、毎年好評の部員の先生が作成した「歯科介護保険請求ソフト」のデモと配布が行われることも、「インターネットで調べた遠隔診療の現状」と題したパワーポイントの上映が行われました。

来年4月の診療報酬における一つの目玉といわれているのが遠隔診療です。遠隔診療は以前から離島などの僻地における患者さんのモニタリングなどで利用されてきたようです。こうした利用には利点も多くありますが、現在、議論されて...

【明石市 西山 裕康】

B1分科会

統計踏まえた 参考になる発表

今年も、今まさにインフルエンザの流行の兆しをうかがうこの時期、ニュースなどで重症化を予防する効果では、今年はワクチン不足があり、そして流行の抑制のようすが、高田裕先生「かかりつけ医とインフルエンザ予防接種」の発表は、調査統計、経緯、またEBMも踏まえた興味深い内容で



多様な観点からの報告がなされたB分科会

徐昌教先生はワクチンと自閉症の関係について、栗田哲司先生はレジオネラ肺炎についてそれぞれ発表されました。

それからわれわれ日常の歯科診療においても、訪問歯科診療においても、特に多職種での連携がますます重要であると吉川周志先生の発表で痛感しました。大槻樂人先生の発表におかれましては、口腔顎顔面外傷(小児)は、日常診療において遭遇するケースで幼稚園から小中高と、学校より外傷で飛び込んでくる

救急フェスタ・CPR講習会

「PUSH」が命を救うのです

日常診療経験交流会の中の企画として行われたCPR講習会を今年も担当させていたいただきです。数えてみれば今年で7回目となる講習会で、その間講習内容も心肺蘇生法のガイドラインの変更もあって少しずつ変化していきましました。ここ数年は大きく二つのグループに分けて、一つを医師、歯科医師、看護師などのグループ、もう一つ



懸命に心肺蘇生の練習をする参加者

今回の講習を受けていただいた方々には胸骨圧迫の重要性を理解していただけたかと思えます。胸を押す(PUSH)だ

ケースも多々あるとのこと。8年間もの調査統計など改めて参考になる点も多く、小児の外傷治療では、後継永久歯への影響や

顎骨の成長発育への配慮が必要であることが分かるなど有意義な発表でした。【姫路市・歯科 小松 盛樹】

B2分科会

薬剤師として 連携すべき点多い

真星病院薬剤師の持富見代先生は、プレアポイド情報を共有し、疑義照会をすることで処方修正されるケースがたかさんあることを紹介してくれました。薬剤師の職能が発揮され、医師からも信頼を得られ、患者さまには安心して治療に臨んでもらえると思いを

顎骨の成長発育への配慮が必要であることが分かるなど有意義な発表でした。【姫路市・歯科 小松 盛樹】

薬局リベルファーマシーの大風幸一先生は、同じ調剤薬局でもお薬代が違ったりは診療報酬の仕組みによるものであることを分かりやすく説明してくれました。私たち薬剤師の大切な収入源で、来年の診療報酬改定は頭の痛いことです。最後の上田進久先生は、兵庫県のアスベスト検診に問題があることを教えてくださいました。一般の肺がん検診だけでは見つけられないこともあるし、職業曝露リスクが問診されず、震災や環境曝露が見逃されること

局されています。これからとても勉強になった45分間でした。【中央区・薬剤師 西村ゆかり】

B3分科会

深く考えさせられる 歯科治療の報告

今回は、初めて座長の大役をさせていただきました。大変緊張しました。座長を担当させていただきました。また藤井佳明先生のインプラント治療と電磁波に関する報告につきましても、今後どのように治療を

10月に入った直前の夜11時30分過ぎ、救急隊より「75歳男性(肺気腫)で、現在の日本の経済状況を浮かび上がらせる結果が分かりました。【芦屋市・歯科 谷端 美香】

プレ企画 心肺蘇生法実技講習会

気管挿管の実技 大変役に立ちました

10月に入った直前の夜11時30分過ぎ、救急隊より「75歳男性(肺気腫)で、現在の日本の経済状況を浮かび上がらせる結果が分かりました。【芦屋市・歯科 谷端 美香】

薬科部展示企画

副作用抑える 漢方薬の長所を体験

日常診療経験交流会で、毎年薬科部の漢方薬の試飲をしています。今年も試飲(じんそいん)でした。飲むとほっこりと体が温ま



漢方薬の試飲に加え生薬も展示

「サトイモ科カラスビシヤクの球茎」とのことですが、刺激性が強くのが痛いほどのエグ味がありました。その後何杯も水を飲んでうがいをしました。ハンゲの口腔内のしびれ感や和らげるには生薬が有効とのこと。漢方薬は、生薬の特性を引き出し、お互いの副作用を中和するようにできているといえます。そのことをひしひしと感じさせていただきました。【尼崎市 綿谷 茂樹】

作品展示コーナー

展示場拝見記

毎年、展示場を拝見し、持って拝見しております。いつも驚かされています。最近はいずれの医院さんもカフ仕上げで、専門の編集者がおられるのかと思うもので、ずいぶん年季を入れたのだらうと感心して拝見しておりました。出されるのも驚きです、費用も年間大きな支出を計上していただけるのには、対象の独居の女性の方に連絡しましたところ、自宅に見知らぬ男性が一人で来られた。患者さん教育に大きな努力を払っていることには高齢者でも抵抗があるとのこと拒否されました。アイデアは良いのですが、何かもう工夫が必要と感じました。睡眠時無呼吸症候群の診断力が向上し、新たに疾患の防止につながることを期待しています。【灘区 岡本 好司】

会員の写真・絵画などの作品を展示

保険診療 のてびき

-714-

日常臨床におけるCOPD診断と治療

西宮渡辺病院 呼吸器内科部長 松浦 邦臣先生講演



兵庫県保険医協会
☎ 078-393-1801
Fax 078-393-1802
http://www.hhk.jp/

疫学

慢性閉塞性肺疾患 (chronic obstructive pulmonary disease : COPD) は肺気腫・慢性気管支炎により惹起される末梢気道の閉塞性換気障害を有し、主にタバコなど有害物質を長期に吸入暴露することで生じる肺の進行性かつ不可逆的な炎症性疾患と定義されます。世界におけるCOPD有病率は10%前後といわれ全世界の死因第3位¹⁾、障害調整生存年数逸失 (Disability-adjusted life-years : DALY) 原因の第2位²⁾ になっています。一方日本での有病率は8.6%³⁾ で40歳以上の推定患者数は510万人にのぼり死因の第9位、2020年には潜在患者数は800万人を超え日本人の死因の第3位になるであろうと予測されています。

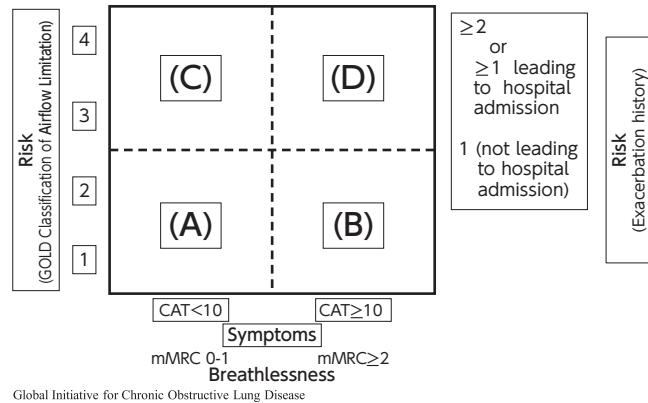
GOLD分類

これまでCOPDは他の気流障害を来しうる他疾患 (喘息・心不全など) を除外し、気管支拡張薬投与後のスパイロメトリーから得られる結果をもって診断および気流閉塞に応じた病期分類が行われてきました。しかし気流閉塞だけでは実際の重症度を正確に評価できず増悪・予後の予測がなされていないとの指摘があり、WHOとアメリカ国立衛生研究所などが中心となって設立された国際機関 GOLD (Global Initiative for Chronic Obstructive Lung Disease) が、2011年に気流閉塞の程度・自覚症状・増悪回数などの項目を加味したCOPDの新たな総合的指標を発表しました。

これが「GOLD分類」(図1)といわれるもので、気流閉塞のグレード、シンプルな質問票 (CAT : COPD assessment testもしくはmMRC : modified British, Medical Research Council) から得られる自覚症状スコア、さらに1年以内の増悪回数⁴⁾ をもってA~Dの4グループに病期分類し、程度に応じた薬剤の選択・治療を推奨するという画期的な提案でありました。

ところが作成時の予測でAが一番予後良好で次いでB→C→Dとなるはずが、実際の検討ではA→C→B→Dで予後良好という結果⁵⁾ が出てしまいました。

図1 Assessment of COPD 2011
Global Strategy for Diagnosis, Management and Prevention of COPD



この結果を受ける形で2017年に改定が行われ、「新GOLD分類」(図2)ではより強い予後予測因子を増悪頻度であると解析し、より強く結果に反映させるべく増悪回数と自覚症状のみでA~Dに分類、気流閉塞の程度は独立した因子として区別しています。

安定期の治療

GOLDでは上述の病期分類に応じた治療法を推奨しています(図3)。薬物治療として主に使用されるLAMA (long acting muscarinic antagonist : 長時間作用型抗コリン剤)、LABA (long acting beta-2 agonist : 長時間作用型β2刺激薬)、ICS (inhaled corticosteroid : 吸入ステロイド) それぞれのエビデンスを示していきます。UPLIFT試験⁶⁾ でLAMA (チオトロピウム : スピリーバ®) の優れた気管支拡張効果と増悪回数減少・死亡率低下が示され、さらにPOET-COPD試験でLAMA (チオトロピウム) がLABA (サルメテロール : セレベント®) よりも増悪回数を17%低減させることを示し優位性を示したかに見えました。

しかしultra-LABAといわれるインデカテロール (オンプレス®) が登場すると、INVIGORATE試験⁷⁾ において気管支拡張効果でチオトロピウムと同等の成績を残し、LABAがLAMAとならんで治療の第一選択薬として併記されるようになります。ただ増悪抑制効果ではLAMAに対する非劣性を示せず、COPD増悪予防にはLAMAに分があるという結果となっています。

図2 新しいCOPDの評価フロー (2017)

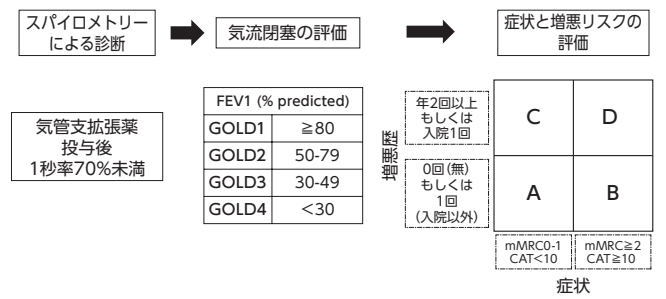
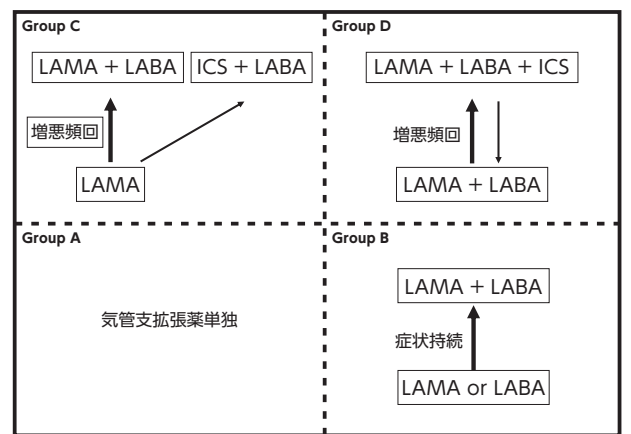


図3 COPD安定期の管理：新しい薬物療法



最近ではLAMAとLABAの合剤グリコピロニウム/インデカテロール (ウルティプロ®)、チオトロピウム/オルダテロール (スピオルト®)、ウメクリジニウム/ビランテロール (アノーロ®) も発売されLAMA単剤よりも高い効果を示すことが確認されています。一方ICSは単剤での効果は乏しく、GOLDでは「重症で増悪を繰り返す患者にLABAとの併用で使用するこ⁸⁾」を推奨しています。

増悪予防・増悪時の治療

COPDを長期管理していく上で、予後予測因子となる増悪回数を減らすことはとても重要です。近年マクロライド系抗菌薬は抗菌活性以外の効果に注目が集まっています。増悪契機となるRSやインフルエンザウィルスによる上気道感染において、症状緩和だけでなくウィルス量の減少や炎症性サイトカインの生成抑制効果、繊毛輸送機能亢進作用、気道クリーニング効果、黄色ブドウ球菌や緑膿菌のバイオフィルム合成抑制などが報告され、これらの作用によるCOPD増悪抑制効果が期待されています。

マクロライドのほかにも禁煙、インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチン (インフルエンザワクチンと併用) の効果があることが報告されており薬物療法とともに実施されることが望まれます。

これらの対策をもっても急性増悪を起こした症例にはABCアプローチ (Antibiotics : 抗菌剤、Bronchodilators : 気管支拡張剤、Corticosteroids : ステロイド薬) で速やかに対処します。COPD急性増悪は病態進行に深く関

与するため、増悪予防ならびに治療において適切に対応する必要があります。

参考文献

- Lozano R, et al. : Global and regional mortality from 235 causes of death for 20 age groups in 1990 and 2010 : a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2010.
- Murray CJ, et al. : Measuring the global burden of disease, N Engl J Med 2013 ; 369 : 448-457.
- Fukuchi Y et. al. Respiriology. 2004 9(4) : 458-65
- Hurst JR et al : N Engl J Med 2010 ; 363(12), 1128-1138
- Lange P, et al. Am J Respir Crit Care Med. 2012 15 ; 186(10) : 975-81.
- Celli, B. et al. : Am J Respir Crit Care Med 180 : 948-955, 2009
- Decramer ML, et al : Lancet Aug 21, 2013
- Crim C, Calverley PM, et al : Pneumonia risk in COPD patients receiving inhaled corticosteroids alone or in combination : TORCH study results. Eur Respir J 2009 ; 34(3) ; 641-7 (8月26日、西宮・芦屋支部研究会より)

保険医協会の共済制度をお勧めします!

団体定期生命保険 **グループ保険** 保険の見直しに効果大 ネット生保と比べてみてください

- 団体保険だから断然安い保険料
- 配偶者1000万円セット加入あり
- 最長75歳まで保障
- 最高5000万円の高額保障
- 過去8年の平均配当率46%
- いつでも増額・減額OK

病気やケガの休業に備えて、高い保険料を払っていませんか?

休業保障制度

非営利・助け合いの共済だから掛金は割安、かつ満期まで上がりません!
最長75歳まで730日の充実保障/掛け捨てではありません/弔慰・高度障害給付あり/自宅療養、代診をしても給付/うつ病等の精神疾患、認知症も給付/妊娠・出産に起因する併発病、帝王切開も給付/他制度の給付に関係なくお支払い

損害保険の団体割引もご利用ください。
所得補償保険、医師賠償責任保険、自動車保険、火災保険

お問合せは共済部まで ☎ 078-393-1805

薬科部研究会「私の処方シリーズ」

薬剤師の先生と共に考える

腎臓専門医のCKD治療の実際使用経験

日時 12月2日(土) 15時30分~17時 会場 協会6階会議室
講師 芦屋市・宮崎内科クリニック院長 宮崎睦雄先生
参加費 500円(会員無料)

お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1840まで